

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 2 月 17 日 (2005.2.17)

【公開番号】特開 2000-352784 (P2000-352784A)
 【公開日】平成 12 年 12 月 19 日 (2000.12.19)
 【出願番号】特願 平 11-164806
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 3 B 35/18

G 0 2 B 27/22

G 0 3 B 21/60

【F I】

G 0 3 B 35/18

G 0 2 B 27/22

G 0 3 B 21/60

Z

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 3 月 9 日 (2004.3.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

合わせ鏡群からなる指向性反射スクリーンにおいて、上記合わせ鏡の挟角が、90 度に対してある小角度 だけずれた合わせ鏡を含むことを特徴とする指向性反射スクリーン。

【請求項 2】

請求項 1 において、上記小角度 は、出射光幅を W、プロジェクタとスクリーン中心の距離を L、所望の鑑賞範囲 R とするとき、数 1 ないし数 4 のいずれかで与えられる角度であることを特徴とする指向性反射スクリーン。

【数 1】

$$\delta = \arctan(W/2L) \div 2 \quad \cdots \cdots (1)$$

【数 2】

$$\delta = \arctan((R-W)/2L) \div 2 \quad \cdots \cdots (2)$$

【数 3】

$$\delta = \arctan((R-W)/2L) \div 3 \quad \cdots \cdots (3)$$

【数 4】

$$\delta = \arctan((R-W)/6L) \div 2 \quad \cdots \cdots (4)$$

【請求項 3】

上記合わせ鏡群からなる指向性反射スクリーンにおいて、合わせ鏡群が、挟角が 90 度に対して請求項 1 または 2 記載の だけずれた合わせ鏡と上記 の 3 倍の角度だけずれた合わせ鏡とを含むことを特徴とする指向性反射スクリーン。

【請求項 4】

合わせ鏡群からなる指向性反射スクリーンにおいて、上記合わせ鏡群が、挟角が 90 度の合わせ鏡と、90 度に対して請求項 1 または 2 記載の の 1.5 倍だけずれた合わせ鏡と

を含むことを特徴とする指向性反射スクリーン。

【請求項 5】

上記角度 が、 $0.01 \sim 1.1$ 度の範囲のある角度であることを特徴とする請求項 1 ないし 4 のいずれか記載の指向性反射スクリーン。

【請求項 6】

合わせ鏡群からなる指向性反射スクリーンにおいて、上記合わせ鏡の挟角と 90 度との差が、ある角度 度となる合わせ鏡と、挟角と 90 度との差が、上記 度にある角度 を加えた角度となる合わせ鏡とを含むことを特徴とする指向性反射スクリーン。

【請求項 7】

請求項 6 において、上記角度 および は、出射光幅を W 、プロジェクタとスクリーン中心の距離を L 、所望の鑑賞範囲 R 、複数の鑑賞者の間隔を D とするとき、数 5 ないし数 9 のいずれかで与えられる角度であることを特徴とする指向性反射スクリーン。

【数 5】

$$\gamma = \arctan (W / L \cos (2\beta)) \div 2 \quad \cdots \cdots (5)$$

【数 6】

$$\beta = \arcsin (D / L) \div 4 \quad \cdots \cdots (6)$$

【数 7】

$$\gamma = \arctan ((R - W) / L \cos (2\beta)) \div 2 \quad \cdots \cdots (7)$$

【数 8】

$$\gamma = \arctan ((R - W) / 2L \cos (2\beta)) \div 2 \quad \cdots \cdots (8)$$

【数 9】

$$\gamma = \arctan ((R - W) / 3L \cos (2\beta)) \div 2 \quad \cdots \cdots (9)$$

【請求項 8】

上記合わせ鏡群に、挟角と 90 度の差が、請求項 6 または 7 記載の および の値に対して $(\pm n)$ 度 ($n = 1, 2, 3, 4$) となる合わせ鏡を含むことを特徴とする指向性反射スクリーン。

【請求項 9】

上記角度 が $0.8 \sim 30$ 度の範囲のある角度であり、かつ角度 が $0.02 \sim 4.5$ 度の範囲のある角度であることを特徴とする請求項 6 ないし 8 のいずれか記載の指向性反射スクリーン。

【請求項 10】

上記合わせ鏡群が、複数種類の挟角の合わせ鏡を周期的に配置してなることを特徴とする請求項 1 ないし 9 のいずれか記載の指向性反射スクリーン。